

令和3年度第2回南区地域福祉アクションプラン推進委員会（書面開催）時の
意見・質疑に対する回答

2. 地区別計画に関する事項

- ① 報告書の内容集約について、12地区の「取組み（実績）」の内容を1ページに集約しての掲載を提案します。

(例)

No.	地区名	取組み（実績）	参加者（内訳）
1	新飯田	・ ・ ・	
	茨曾根		
	庄瀬		
⋮	⋮		

各地区での取組み（実績）内容を一覧化することにより、「共通のテーマ」「地域性を感じるテーマ」「新たなテーマへの取組み」などについて、地区間でのヒントになるのではないのでしょうか。

(回答)

一覧で見られるような表を作成するようにします。

- ② 評価項目の内容について、アクションプラン推進委員としての自己評価で良いのか、それとも地域の方達が実施した活動内容について評価するのか分からない。

推進員が6年かけての目標達成に向けての計画及び活動についての自己評価で良いのであれば、○△×のほうがわかりやすい。

さらに、地域での総合的な採点は必要なので、客観的な判断をA・B・Cで評価（全体評価）していただき、地域ではどう感じているのかの理解が必要と思います。

(回答)

評価については、アクションプラン推進委員としての自己評価ではなく、地域の方たちが実施した内容について地域の方たちで話し合っただけで評価したものです。評価表を作成する際に、地域で評価会議を開いていただいています。A・B・Cの評価については、以前からこの評価の示し方であったこともあり、前年と比較するためにも同じ方がよいと判断したものです。

「客観的判断」となると「外部の方からの評価」や「具体的数値目標など、効果指標を年度当初などに決めて実施し評価する」ことになると思われますが、地域福祉活動計画の性質上、数値目標だけで効果を測れない活動事業も多いことから、年度ごとに活動事業について

目標に照らしてどうだったか話し合い、評価していくこととした次第です。

- ③ 地区別計画に行政、関係機関が期待する課題は？進捗状況とそれに対する助言などの活動はいかがでしょうか？

(回答)

地区別計画については南区社会福祉協議会が主体となって進めております。地域住民同士による支え合い・助け合いのしくみづくりの推進について行政として南区社会福祉協議会に期待しております。進捗状況や課題等について常に共有しながら進めていきたいと考えています。

- ④ 各地区別の計画内容（取組み・実績・評価・課題など）の集約に係わる報告書作成に工夫していただければと思う。

(回答)

どのような工夫が必要か、委員の意見をお聞きした上で現在使っている評価表の修正を検討します。

- ⑤ 「アクションプラン」というものの存在をいろいろな機会を通して伝えていくこと（知ってもらうこと）が必要かなと思いました。

特に小中高生といった若い人たちにつなげていくことが大切なように思います。防災訓練の内容など他地域のものは参考になりました。

(回答)

今後も様々な機会を通して周知していきたい。また、小中高生に伝わる機会として小中学校での福祉教育で伝えています。そのほかにも機会があれば地域の方からお声かけいただき、説明に出向きたいと考えます。

- ⑥ 各地域ともコロナ禍でも様々な工夫を凝らしながら、支え合いや防災の強化に取り組まれており、素晴らしいと思いました。

この取り組みが推進されるためには、各地域でも課題としているニーズの把握や情報収集、団体の連携が必要不可欠です。住民アンケートを実施又は実施予定の地域もあるようですが、どの範囲で実施（予定）したのか知りたい。

(回答)

1)南新町お助け隊

南新町町内会でお助け隊活動を行うにあたり、全戸に対して町内会長から依頼して困りごとアンケートを行いました。

2) 茨曾根地区

下茨自治会と道瀨自治会それぞれにおいて、災害時の避難行動要支援者の避難支援について地図上で情報を落とし込みながら検討を行いました。その後、2自治会の全世帯へ「災害への備え」についてアンケートと、避難の際支援される人と支援する人とが顔合わせを行いました。そもそも心配な世帯への見守りはある程度できている地域でしたが、平時からゴミ出しが困っていることを知り、自治会での取り組みをスタートするなど支え合いの活動が生まれました。今後については、地図上に落とし込んだ体制を連絡網として作成したり、要支援者への個別避難方法について、その方の支援をしている専門機関と地域の方とで検討していく予定です。

- ⑦ オールAの庄瀬地区、大郷地区、根岸地区に特に共通していることとして、自治会、商工会、防災会、消防団、中学生との交流を深め、連携、支えあいのしくみづくりができているのだと思われます。

庄瀬地区は特に生活に必要な移動、困っている人のために暮らしの「足」を考え、デイサービスの送迎車をうまく使用し、地域での活用を試行されているとのこと。交通不便の地域ゆえの試みとして素晴らしいと思います。

防災訓練も各地区で行動されているが、住民すべてが避難できる避難場所がないことが問題ではないでしょうか。強い防災づくりを考えるうえで、最初に考えねばならないのではないのでしょうか。

(回答)

南区には指定避難所が48施設あり、緊急避難で6万人、避難生活では3万人の避難者を受入れることが可能です。新潟市の防災基礎調査に基づく想定最大避難者数を十分に受け入れることができる態勢となっています。

- ⑧ 各地区共、防災講座を数多く実施している様子。そのためか、災害時における課題が露呈しています。特に災害時要支援者の基準の確認や対応の仕方考える必要があります。

また、各地区で地域の茶の間や敬老会などの催しが出来ず、苦悩する姿が見えました。

(回答)

自分一人で避難することが難しい人については、避難行動要支援者名簿に登録いただき、個人情報の開示に同意いただくことで、地域の中での避難行動の検討などもでき、より効率的な避難行動につなげることができると考えていますので、お近くにそのような方がいらっしゃいましたら、避難行動要支援者制度についてお伝えいただければ幸いです。

- ⑨ 各地区で地域の茶の間や敬老会などの催しが出来ず、苦悩する姿が見えました。

- ⑩ コロナ禍の中、各地区工夫をして活動しています。早く終息し、次への活動がしたいですね。
- ⑪ 各地域地区で取り組んでいられるのが分かりました。望むことを実現するために、多くの人がエネルギーを集めていらっしゃるのですね。知ることができて良かったです。
- ⑫ 12地区とも感染対策を講じながら概ね事業・活動が進められていると認識しました。担い手不足が大きな課題となっている中、事業・活動を継続することが重要でその対策を各地区の強みを生かして考えていくことを期待します。
- ⑬ 書面開催とは初めての経験でした。実際の会議での感じ方と異なりとても難しかったです。話したいことも話せないと思いました。